リケンテクノスを知るための3つの質問

リケンテクノスグループ統合報告書2026をご覧いただくにあたり、まずは3つの質問を通じて、リケンテクノスとはどのような会社か、事業内容や強み、目指す姿をご紹介します。

Q1 リケンテクノスはどのような事業を行っていますか?

A1 コンパウンド・フィルム・食品包材の製造・販売を通して社会に貢献しています。

リケンテクノスは、樹脂素材の開発力を基盤に、コンパウンド※、フィルム、食品包材の3つの事業を展開する化学メーカーです。自動車、医療、インフラ、建材、食品など幅広い分野に製品を提供し、国内外の産業や人々の暮らしを支えています。

※ ベースの樹脂に添加剤を何種類か混ぜ合わせ、新しい性質を持たせた複合材料で、主に押出成形や射出成形に使われる素材。

Q2 リケンテクノスの競争優位性や強みはどこにありますか。

A2 塩ビコンパウンド分野では、トップクラスの地位を築いています。

当社は、自動車部材や電線被覆材、医療用途などに用いられるコンパウンドを中核に、建装用フィルムや食品包装用ラップなど幅広い分野に製品を供給しています。用途に応じた性能設計と顧客の要望に応える技術力により、高い品質安定性を確保しながら付加価値の高い材料を創出している点が特徴です。この強みを背景に、日系自動車向けワイヤーハーネスおよび医療用途材料においてグローバルでNo.1のシェアを有し、塩ビコンパウンドではタイおよびインドネシア国内においてもNo.1のシェアを有しています。

Q3 リケンテクノスが中長期的な視点で取り組んでいることは何ですか?

A3 「稼ぐ力」と「サステナビリティ」を両輪に、長期ビジョンの実現を目指しています。

当社グループは、長期ビジョン「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」の実現に向け、「稼ぐ力」と「サステナビリティ」を両輪とした取り組みを推進しています。既存事業の成長を図るとともに、新規事業・新製品の創出を進め、持続的な成長と社会への価値提供の両立を目指しています。また、長期ビジョンでは「10年後のありたい姿」を具体的に掲げ、中長期での価値創造を推進しています。

すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して

10年後のありたい姿

to customers

新しい発想とアプローチで、「ものづくり」と「価値創造」を実現する

グローバルや新規分野の拡大とメーカーとしてのものづくりの未来へのチャレンジ

to society

社会・環境の変化に柔軟に対応し、サステナブルな社会に貢献する

企業として社会的責任を果たし持続可能な社会へ貢献

to employees

従業員一人ひとりが「やりがい」「誇り」を持ち、共に「成長」する

DE&Iの推進や働き方改革を踏まえ「人の成長こそ企業の成長」を実践

編集方針

リケンテクノスグループは、経営理念である「リケンテクノス ウェイ」のもと、長期ビジョン「すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して」を掲げています。その実現に向け、マテリアリティ・中期経営計画を策定し、企業と人と社会への新たな価値と喜びの提供に挑戦し続けています。

統合報告書「Blue Challenge Report 2026」では、当社グループの持続的成長と企業価値のさらなる向上を目指し策定した3ヵ年中期経営計画を軸に、財務戦略や資本政策に関する記載をより充実させています。2025年度は本3ヵ年中期経営計画の初年度にあたり、新たな戦略・施策の進捗状況に加え、新規事業に関する取り組みについてを特集にてご紹介しています。

今後もBlue Challenge Reportをコミュニケーションツールのひとつとして、ステークホルダーの皆様と建設的な対話を進めていきます。当社グループが挑戦している内容をご理解いただければ幸いです。

発行時期

2026年9月

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日
(一部、2026年4月以降の活動内容等の情報を含む)

報告対象範囲

リケンテクノス株式会社および連結子会社
(ただし、それ以外の場合は、本文中に記載)

参考にしたガイドライン

- 国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス(価値協創ガイダンス)」
- 環境省「環境報告ガイドライン」

報告書お問い合わせ窓口

リケンテクノス株式会社 経営企画部
TEL:03-5297-1631 FAX:03-5297-1660

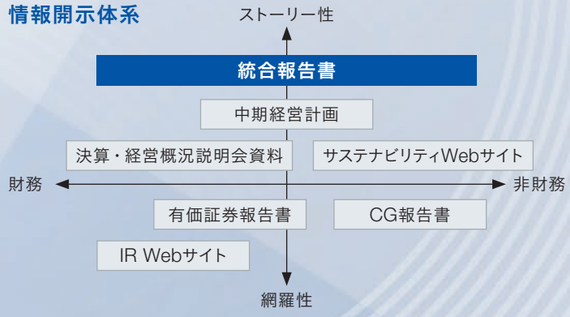
WEBサイト

詳細情報については、WEBサイトをご覧ください。
https://www.rikentechnos.co.jp/

予想・見通しに関する注意事項

本報告書に記載されている予想・見通しに関する記載は、将来の経営環境・経済状況などに関する現時点での仮定・推測に基づくものであり、実際の業績等と大きく異なる可能性があります。

情報開示体系



目次

価値創造の全体像

CEOメッセージ …… 3
リケンテクノス ウェイ …… 9
リケンテクノスのあゆみ …… 11
価値創造プロセス …… 13
製品紹介 …… 17
長期ビジョン・マテリアリティ …… 19
3ヵ年中期経営計画 …… 21
企業価値向上への結びつき …… 23
財務戦略 …… 25
財務担当役員メッセージ …… 27

本業を通じた貢献

事業セグメント …… 31
ものづくり統括本部 …… 37
新製品・新技術の創出 …… 39
特集　次代の成長を創る …… 41
生産技術・生産効率の向上 …… 45
品質向上と製品安全の確保 …… 47

地球環境の保全

リケンテクノスのサステナビリティ …… 49
地球環境の保全 …… 50

社会との共生

社会との共生 …… 55

事業基盤の強化

コーポレート・ガバナンスの高度化 …… 63
社外取締役座談会 …… 72
リスクマネジメントの強化 …… 77
コンプライアンスの強化 …… 81
DXによる事業変革 …… 82

ステークホルダー

ステークホルダーコミュニケーション …… 84

データセクション

財務情報 …… 87
財務・非財務ハイライト …… 93
拠点情報 …… 95
会社情報・株式情報 …… 97

アンケートご協力のお願い

今後の報告書作成の参考にさせていただきますので、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

弊社HPの統合報告書ページ(https://www.rikentechnos.co.jp/ir/integrated-report/)のアンケートフォームからご回答ください。